

タウンミーティングの実施状況について

今後の「とやまの森づくり」のあり方について、幅広く県民の皆さんの意見を反映させるため、昨年10月以降、人づくり・ふるさとづくりと併せてタウンミーティングを開催。

1 実施内容

(1) 日時及び場所

(1回目) 10月2日(土) 14:00～16:30 富山市(富山県民会館3階特別会議室)

(2回目) 11月7日(日) 13:00～15:15 高岡市(高岡エクール)

(3回目) 12月18日(土) 14:00～16:40 魚津市(ホテルグランミラージュ2階「天翔の間」)

(2) 参加人数 各会場約200人

(3) 森づくりに関する主な意見

富山会場	<ul style="list-style-type: none"> ○里山林の整備は、地域の文化や教育の向上にも役立っている。今後は、里山を中心とした様々な地域活動にも積極的に取り組んでいきたい。こうした取り組みを各地で広げるためにも、平成23年度までとなっている水と緑の森づくり税を延長してほしい。 ○とやまの森づくりサポートセンターから支援をいただき大変助かっている。今後も、森林ボランティアの育成や安全に関する教育を継続してほしい。 ○県産材を住宅に使うことにより森の整備につながる。県産材の意義や良さをPRするには非常に効果的なので、県産材住宅への助成を継続してほしい。その助成に水と緑の森づくり税を充てても良いのではないかな。
高岡会場	<ul style="list-style-type: none"> ○竹林は整備しても放置すると元に戻るため、森づくり税を活用し継続して取り組む必要がある。 ○里山林整備に着手した場所は、継続した整備を進めることが必要である。そのためには住民だけの力では限りがあるので、水と緑の森づくり税を活用した里山再生整備事業の支援を継続してほしい。 ○里山林の整備をはじめとして、人身被害が発生しないようクマ対策を強く実行してほしい。 ○カシノナガキクイムシの被害木の防除を一層進めてほしい。また、カシノナガキクイムシの被害跡地に実のなる木を植えてはどうか。
魚津会場	<ul style="list-style-type: none"> ○土砂災害の防止など森林の持つ公益的な機能を高度に発揮するためにも、風雪被害林や手入れの遅れた過密人工林を針広混交林にすることは必要である。実施する財源が不足するようであれば税額を引き上げて良いのではないかな。 ○木材価格は依然として低迷しており、間伐材による収益が見込めない状況にある。スギの間伐など生産林の整備にも水と緑の森づくり税の活用を工夫しても良いのではないかな。 ○高校生や大学生など若い人たちが森づくりに関わる機会が少ないのではないかな。もっと森づくり事業をアピールしていく必要がある。